

販売元  
**株式会社 アルニス タイプ**  
〒518-0901 大阪府東大阪市加納6-4-9 お客様相談窓口：0120-22-3403  
TEL. 072-874-3268 FAX. 072-874-3385 e-mail: taichi@rs-taichi.co.jp

製造元  
**HJC VINA LIMITED COMPANY**  
Khai Quang Industrial zone, Khai Quang Ward,  
Vinh Yen City, Vinh Phuc Province, Viet Nam. Tel. 84-211-3726-911



Rev.02 / JP

## 安全の為の重要な情報

### ▲警告

本取扱説明書には正しいヘルメットの選び方や着用の仕方、取扱い方法や交換時期などについて記載しております。間違った使い方をすると、万一の事故の際に重傷を負ったり、最悪の場合死に至ることもあります。最大限の保護効果を得るために、常に以下の事項を実施して頂く必要があります。

- 走行時は必ずヘルメットを着用する
- 偶発的な損傷を避けるために、ヘルメットを丁寧に取扱う
- ヘルメットを着用している状態でバイクの安全運転を行う

HJCヘルメットは着用することで事故の際の怪我を防いだり、損傷を減らす為に作られています。全ての衝撃が着用者を保護できる訳ではありません。例えばヘルメットは唇や顔部の損傷を防ぐことはできません。また、ヘルメットを着用している範囲の損傷を防ぐことは保証していません。

低速での事故であっても、場合によっては重傷や死に至る場合があります。

## ヘルメットの選び方

**▲警告** 中古ヘルメットを購入して使ったり、他人から借りたヘルメットを使用してはいけません。ヘルメットを使用するにつれ、内装が着用者の頭の形に合うように変形されていきます。中古ヘルメットや他人から借りたヘルメットでは、充分な保護性能を確保できません。

**▲警告** 間違ったサイズのヘルメットを使用した場合、万一の事故の際に重症や死に至る危険性が高まります。大き過ぎるサイズを着用した場合、事故の際ヘルメットが取れる可能性があり大変危険です。正しいサイズを選ぶ為に、以下の方法を参考にしてください。

1. **頭のサイズを測定する** 眉の上2.5cmの高さで、頭の周長をメジャーで測ります。
2. **サイズチャート**を参照する 頭の周長が一番近いサイズを、サイズチャートから選びます。数値が各サイズの間間に位置する場合、まずは大きい方のサイズから試し、次に小さい方のサイズを試してください。

### サイズチャート

**▲警告** サイズチャートはあくまで参考値です。必ずヘルメットを着用して適切なサイズを選んでください。

サイズ	S	M	L	XL
センターメートル(CM)	55-56	57-58	58-59	60-61

### ヘルメットを着用する

左右のあご紐をつかんで、頭頂部ヘルメットの内装が解れるまでしっかりとは解ります。

### サイズが適切かどうかの確認

ヘルメットの内装が頭の周りにびっぴりと合っているかどうか。

頭頂部の内装がしっかりと頭に触れているかどうか。

チークパッドが頬は部分に密着しているかどうか。

前頭部の内装と部分に密着していないかどうか。指を入れて確認してください。

もし内装が適切にフィットしていない場合、より小さいサイズを試してください。

### 視界が確保されているか確認する

上下左右、視界がしっかりと確保されているかどうか確認してください。

### ヘルメットのフィッティングチェック

両手でヘルメットの両側をつかみ、頭の動かないように注意しながら上下左右にヘルメットを動かします。内装が頬や頬をはさむような状態であれば、ヘルメットのサイズが小さ過ぎる可能性があります。サイズを確認してください。ヘルメットを動かそうとした時に、一緒に頬や頬はも同方向に動くこととする状態が適切です。



**SG** マークは(Safe Goods)安全な製品の略号で一般財団法人製品安全協会が定めたものです。構造、材質、使いみちなどから見て、生命又は身体に対して危害を与える恐れのある製品として、安全な製品として必要な事を決めたSG基準を、一般財団法人製品安全協会が定め、この基準に適合していると認められた製品にのみ付けられるマークです。

**PS** マークのPはProduct(製品)、SはSafety(安全)の略号で国が定めたものです。なお、PSマークの下のCはConsumer(消費者)の略号です。国は、消費生活用製品のうち、一般消費者の生命又は身体に対して特段危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品を「特定製品」として政令で指定し、国で定めた技術上の基準に適合しているかどうかチェックします。合格した製品にはPSマークの表示がされ、PSマークを表示していないものはその販売を禁止されています。

### 乗用ヘルメットの有効期限は、「購入後3年です」

ヘルメットは使用に伴い老朽化、劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持できない事もありますが、このためSGマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して、「購入後3年」との有効期間を定めております。有効期間を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れもありますので、充分ご注意ください。又3年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損、改造したヘルメットも事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので、充分ご注意ください。

### SGマークの被害者救済制度について

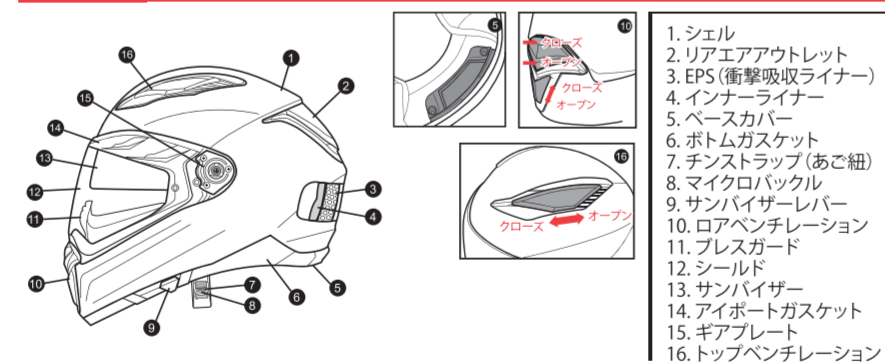
ヘルメットについているSGマークは、万一ヘルメット(シールド等の付属品は含まない)に欠陥があり一般財団法人製品安全協会の定めるSG基準に適合していないため着用者がケガをした場合など身体的損害について賠償するものです。但しオートバイを特殊な用途(レース/サーカス等)に用いている際の場合SG基準の定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷等は賠償の対象になりません。

「賠償手続きは以下の通りです」

1. 製品の欠陥による事故がおきたら、すぐ一般財団法人製品安全協会へ連絡してください。電話番号は03-5808-3303です。
2. 『事故発生届』又は『賠償措置実施請求書』を提出してください。(原則として事故発生より60日以内)
3. 事故の状況を伺うとともに、事故品について精密な点検や試験を行います。
4. 以上の調査結果を検討して、賠償するかどうかが決定します。

### SGマークについてのお問い合わせ先

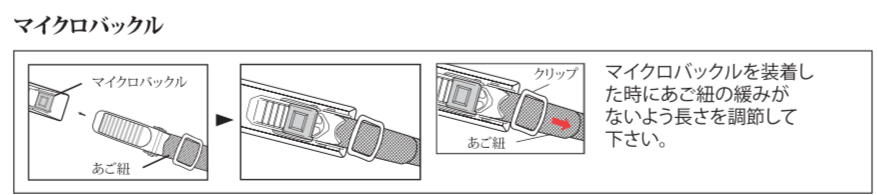
〒110-0012 東京都台東区竜泉 2-20-2 ミサワホームズ 三ノ輪2階  
一般財団法人製品安全協会  
電話番号 03-5808-3300



## 各部の名称

### ○注意事項

- 走行中にエアインテークのシャッターを操作しないでください。走行中のシャッター操作は、オートバイの操縦に支障をきたす原因となる危険です。操作は、必ず停止した状態で行ってください。
- 大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上損傷がなくても使用しないでください。ヘルメットは、シェルと衝撃吸収ライナーが溶けた事で衝撃エネルギーを吸収できず、衝撃を受けた後は既にライナーが潰れている場合が多く、再度衝撃を受けた際にエネルギーを吸収できず非常に危険です。
- ヘルメットの性能を低下させる可能性がありますので、頭とヘルメットの間に何も挟まないでください。必要場合はヘルメットリムパーム、ヘルメットインナーキャップ等の専用用品をご使用ください。
- ヘルメットを持ち運ぶ時のご注意。ミラーやシーサー等にヘルメットを掛けしないでください。ヘルメットは必ず本体又はあご紐を持って取扱いください。内装やシェルをつかんで持ち運ぶとヘルメットを落とす恐れがあります。ヘルメットをオートバイのハンドルに付けたままの走行はおやめください。ヘルメットに傷を付けるばかりか、オートバイの操縦に支障をきたすことがあり大変危険です。
- ヘルメットに塗料、接着剤、その他何なる溶剤をつけないでください。溶剤によるシェル及び衝撃吸収ライナー、その他部品に損傷し衝撃吸収能力が著しく低下します。
- ガソリンがヘルメットに付着しないよう注意してください。ガソリンは、ヘルメット本体シェルやバイザー等の部品を損傷させる可能性があります。
- 夜間や視界の悪い場所では、暗い色のシールドを使用しないでください。
- ケミカル類をご使用の際にヘルメットに損傷を与える可能性があるかどうか分からない場合には、お問い合わせください。



**ヘルメットのメンテナンス方法**

**シェルの清掃について**

**▲警告** ヘルメットを清掃する際は専用のクリーナーを使用してください。不適切なクリーナーを使用するとシェルやライナーの損傷につながり、死亡や重傷のリスクが高まります。

光沢仕上げのヘルメットは、オートバイや自動車用のケミカルでヘルメットを清掃することを推奨していません。油膜がはく離れ除去するために洗浄ですが、ヘルメットの光沢を損なう可能性があります。製品の説明をよく読んでご使用ください。また、スチッカーやデカールを貼ると剥がした後に糊が残る場合があります。糊残りを取り除くにはアルコール成分を含んだウエットティッシュ等を使用してください。その後、アルコール成分が残らないよう、すぐに中性洗剤と水を使って拭き取ってください。強く擦ると、ヘルメットを傷つける場合がございますのでご注意ください。艶出し仕上げのヘルメットでは、ある程度中性洗剤を使用することを勧めますが、ひどい汚れには専用のクリーナーを使用し、表面を清掃する際に強く擦ったり、ブラスを使用しないでください。

1. ヘルメットに付着した汚れ(虫や草などは1日以内に清掃してください)。
2. クリーニング方法
  - 1) ある程度柔らかい布でヘルメットを清掃します。
  - 2) ご付いた汚れが強い場合は、ヘルメットが乾いてから洗剤等を使用して取り除いてください。
    - ※アルコールやシンナー等の薬品は最後に損傷を与える可能性があるため使用しないでください。

**内装の清掃について**

ヘルメットの内装は生地や綿目目に汗、湿気、汚れが蓄積すると臭いの原因となることがあります。取り外し可能な内装は手洗いを推奨しています。洗濯機を使用する場合はネット等に入れてから洗ってください。脱水機、ハンガー、シンナー、ガソリンその他の薬品は使用しないでください。傷がつかない様に脱水機にかけたくありません。汚れた内装は専用のクリーナーを使用し、表面を清掃する際に強く擦ったり、ブラスを使用しないでください。

**ベンチレーションの清掃について**

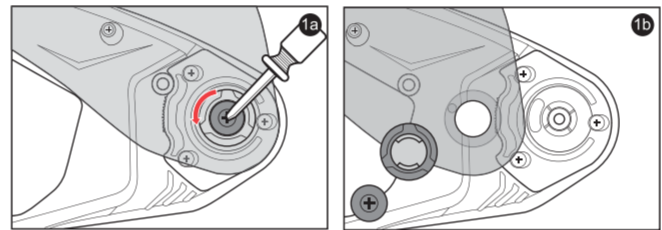
泥や異物がヘルメットのベンチレーションを塞いでしまう場合があります。手の届かない場所に異物が入った場合は、エアダスター等を使用して除去してください。またその場合、清掃を行う前に内装を取り外すことをお勧めします。

**シールドの清掃について**

ヘルメットのシールドは、強化コーティングを施したポリカーボネードでできています。シールドを清掃する際には中性洗剤と温水を使用してください。コーティングを保護するために、注意深く取り扱ってください。湯水、ペンシ、シンナー、ガソリンその他の薬品は使用しないでください。傷がつかない様に乾燥機にかけたくありません。有色シールドは「昼間のみ使用」のためのものであり、夜間や視界不良時の使用には適していません。

**シールドの取り外し**

1. ネジを時計反方向に回して分解する。
- シールドを分離する。



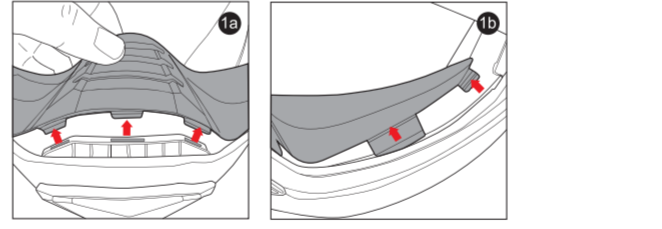
**サンバイザーの取り付け**

1. サンバイザーの機構のタブ(A)をホルダー(B)に差し込んで下さい。同様に逆側も差し込みます。

**※取付の際は確実にタブを奥まで押し込んで下さい。押し込みが強いとサンバイザーが正しく作動しません。**

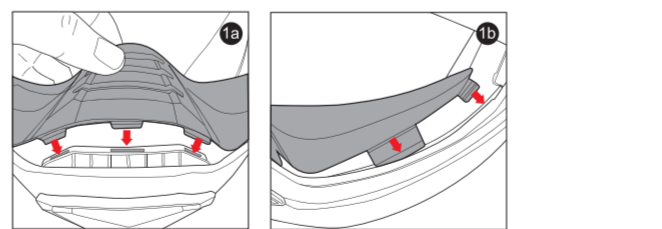
**プレスガードの取り外し**

1. プレスガードをかみ、矢印の方向へ引き抜いてください。



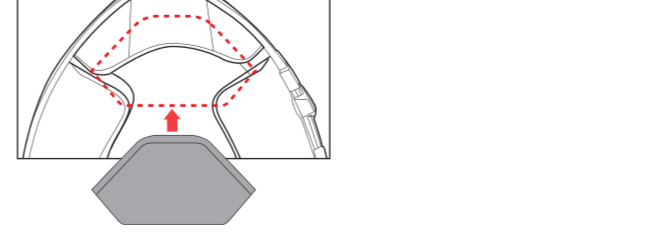
**プレスガードの取り付け**

1. 図の様にプレスガードを差し込んで下さい。



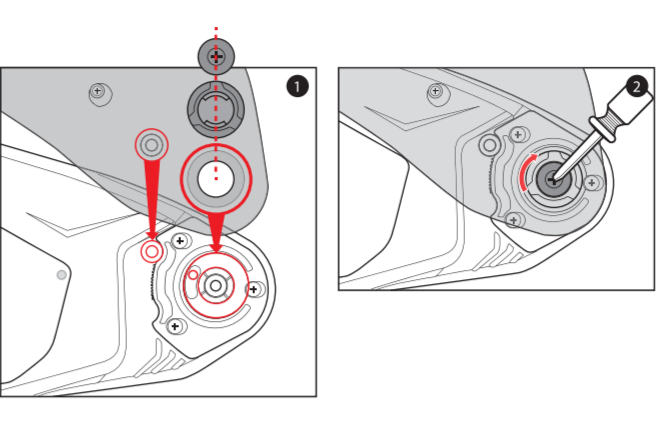
**チンカーテン追加パッドの取り付け**

**※** 付風のバンドをチンカーテン内面に取り付けると、首元からの風の巻き込みを軽減することができます。



**シールドの取り付け**

1. 枠に合わせてシールドを本体に入れます。
2. ネジを時計方向に回します。

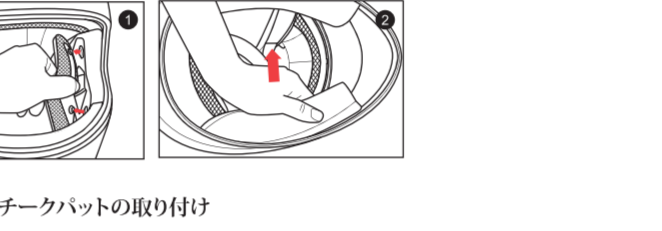


**▲警告** ヘルメットを使う前に、バンドが正しい位置にあるかを必ず確認してください。バンドが適切に取付されていないと、事故発生時、深刻な負傷や死亡の危険が高くなる恐れがあります。

**チークパッドの取り付け**

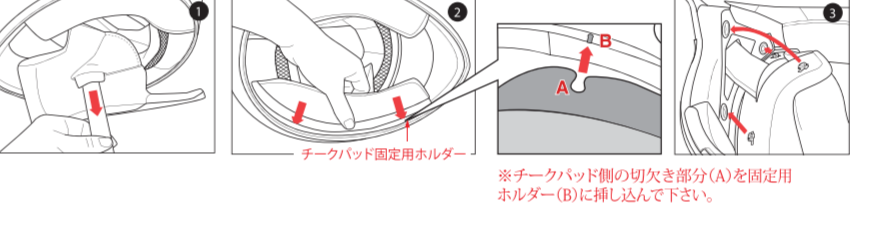
チークパッドはスナップボタンとプラスチック版で固定しています。

1. チークパッド内側にある3つのスナップボタンをやさしく外して下さい。
2. チークパッドを図2の様に引いて取り外して下さい。



**チークパッドの取り付け**

1. チークパッドにあご紐を通します。
2. プラスチック版をシェルとE P Sの間のスキマに入れます。
3. スナップボタンを取り付けます。



**補修用パーツについて**

**▲警告** HJCが製造していないパーツの使用は危険で、事故で重傷を負う可能性があります。必ずこのヘルメット用のHJC純正パーツのみを使用してください。

**ヘルメットの改造は絶対にしないでください。**

HJCヘルメットはISIR規格とSG規格の基準を満たすように設計されています。ヘルメットの改造をすると保護性能が削られ、重大な怪我や死のリスクが高まります。以下の項目を含む、いかなる改造もしないでください。

- 穴を開ける
  - 軽微、ライナー、あご紐を切る
  - あご紐の改造
  - 衝撃吸収材の交換や削除
  - 塗装
  - 内装部品はHJCのアクセサリの装着
- 改造による品質低下がでます。お問い合わせください。

**ヘルメットの正しい保管方法**

**▲警告** 不適切に保管されたヘルメットは損傷を受け、事故で重傷を負う危険性が高まります。

- 直射日光を避けて保管してください。
- ペットや他の動物に近付けないようにしてください。
- 高温になる場所に保管したり、高温の物に近付けないでください。
- 直射日光に当たる場所に長時間置いとくとヘルメットの保護性能が著しく低下する可能性があります。

**ヘルメットの交換時期について**

**▲警告** HJCヘルメットはなるべく長くご使用いただけるよう最良な素材を使っていますが、最終的には新調していただく必要がございます。次の場合はすぐにヘルメットを交換してください。

- 衝撃を受けた場合、ヘルメットは1回の衝撃を吸収するために設計されています。衝撃を受けるとシェルにダメージが残り、衝撃吸収材が潰れてしまうことがあります。そのダメージは目で確認できない場合もあります。その際の衝撃が強い場合は必ずヘルメットを交換してください。
- ヘルメットに傷が複数発生した場合、ヘルメットの保護性能が著しく低下する可能性があります。
- ヘルメットの内装が破損した場合、ヘルメットの保護性能が著しく低下する可能性があります。

ヘルメットが損傷を受けていない場合でも、使用期に応じて3~5年ごとに交換する必要があります。時間の経過とともに衝撃吸収等によりヘルメットの劣化が進みます。劣化したヘルメットを着用すると万一の事故の際、重大な怪我や死のリスクが高まります。ヘルメットの交換が必要かどうか判断がつかない場合は、そのヘルメットを使用するのを避けてください。

**ヘルメットの処分**

**▲警告** 新しいヘルメットを購入した際は、古いヘルメットを再使用できないように廃棄してください。古いヘルメットが破損していても破棄しないようにしてください。ヘルメットは使用するにつれ、内装が着用者の頭の形に合うよう形変えていきます。他の人がこのヘルメットを使用すると適切な保護性能を得られません。

**保証について**

製品の材料や製造過程に不具合があった場合、以下に定める製品保証規定に基づき、製品の無償修理等を行います。

**製品保証の範囲**

この保証は製造時の欠陥のみを適用し、保証期間はスタート日より負になります。RP14シリーズの保証期間は購入日から9年間または製造日から7年間、他のモデルの保証期間は購入日から9年間または製造日から9年間が適用されます。この保証は着用者の取用、過失、改造、事故などに起因する問題には適用されません。従光色の色褪せや劣化による劣化の色褪せや劣化による劣化の色褪せは保証の範囲外です。

**責任範囲**

本製品の不具合に起因する補償(本製品の使用期間、ご使用中に生じた不具合または本製品の使用によって受けられた損害や怪けりし利益の損失等)については一切の責任を負いません。

**保証サービスのご利用方法**

保証を受けるにはヘルメット、購入を示すレシート、問題の説明、お客様の名前、電話番号などの簡単なメモをヘルメットを購入した正規のHJC販売店にお持ちください。